

第3学年 総合的な学習の時間

「地域の伝統的な文化を調べよう」(10時間)

1 単元の目標

- ① 地域に伝わる祭りや伝承を調べ、地域の人々の思いや願いを知る活動を通して、我が国の伝統文化に関心を持ち、現在の自分との関わりを理解する。
- ② 学習後に地域の伝統文化を継承している人へ手紙を書くことで、日本の素晴らしさについて振り返り、多様な文化を尊重しようとする態度を育てる。

2 単元で育てたい資質・能力

◆人間関係

「対人関係力」

- ・相手の気持ちに応じて、真心をもって礼儀正しい言動で接すること
- ・相手がどう考えるかを意識して行動すること

・友達と共に、地域の人々の気持ちを想像して質問内容を考えるとともに、調べ学習を進める中で、地域の図書館や町内会の人々など、お世話になる人に礼儀正しい言動で接する。

□社会参画

「グローバル化に対応する力」

- ・我が国の伝統と文化に関心を持ち、現在の自分との関わりを理解すること
- ・他国の人々や生活、文化に慣れ親しんで行動すること

・地域に伝わるお祭りや伝承を調べたり、地域の人や家族に質問したりする活動を通して、日本の伝統と文化について関心をもつとともに、地域と人々との関わりを知り、自らもそれを大切にする。

■未来への創造

「新たな価値を創造する力」

- ・興味や関心をもって、習得した知識を生かしながら新しいものをつくり出す活動をする

・学習を通して、気付いたことや分かったことを振り返り、地域の人々へ自分の気持ちや考えを伝えることで、地域の一員としての自覚を高める。

3 単元で扱う主な教育課題との関連

日本の伝統・文化理解教育	・自分の住む地域における祭りや伝承に親しむことで、国際社会に生きる日本人としての自覚と誇りを養うとともに、多様な文化を尊重する態度を育てる。
メディアリテラシー教育	・学校や地域の図書館の活用を通して、地域の祭りや伝承について必要な情報を収集・処理し、発信・伝達する能力を育てる。
I C T 教育	・コンピュータや情報通信ネットワークを使って地域の祭りや伝承を調べることで、I C T 機器を適切に利活用する資質や能力を育てる。

4 単元の指導計画（10 時間扱い）

時間		主な学習活動・内容	育てたい資質・能力 ◆人間関係 □社会参画 ■未来への創造 ★評価	指導上の留意点
1次 (2)	問 い を も つ	<p>【地域の祭りについて話し合う】</p> <p>○地域の祭りや伝承について知っていることを話し合う。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近くの神社で、子供が獅子舞を演じている。 ・川で灯ろうを流す行事がある。 ・酉の市には、多くの人を訪れている。 <p>○地域の人や家族から聞いてきたことを発表し合う。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔はたくさんの子供たちがお囃子に参加していた。 ・灯ろう流しをする理由を聞いてきた。 ・昔からずっと祭りが続いていることが分かった。 	<p>□グローバル化に対応する力</p> <p>★地域に伝わる祭りや伝承を調べたり、地域の人や家族に質問したりする活動を通して、日本の伝統と文化について関心を深めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・祭りで行われていることについて、経験を基に話し合わせる。 ・友達の話聞いて関心をもった内容を黒板に貼り出し、分類してテーマごとにグループを作り、学習意欲をもたせる。
2次 (4)	調 べ る	<p>【地域の伝統行事や支える人の思いを調べる】</p> <p>○グループで話し合ったことを基に地域の人々に質問したり調べたりする内容を考える。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事の準備 ・祭りを続ける理由 ・努力や苦労を感じる ・子供や若者へ伝えたいこと <p>○調べる計画を立てる。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットで情報を収集する。 ・町内会の人に質問しに行く。 ・地域の図書館に調べに行く。 <p>○気付いたことや分かったことをノートや学習カードに記入する。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔から変わらずに受け継がれていること ・継承していくためには、人々の思いや努力が必要であること 	<p>◆対人関係力</p> <p>★調べ学習を進める中で、地域の図書館や町内会の人々等、お世話になる人に礼儀正しい言動で接している。</p> <p>□グローバル化に対応する力</p> <p>★地域と人々との関わりを知り、自らもそれを大切にしようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・礼儀正しく挨拶をすることや自己の話し方や相手の話を聞く態度等について学ぶ時間を設定する。 ・地域の伝統行事を支える人々の思いを振り返りながら、自分の取組を考えるよう助言する。
3次 (4)	振 り 返 る 発 信 す る	<p>【地域の伝統行事を支える人へ手紙を書く】</p> <p>○地域の人々の気持ちについて考えたことを友達と話し合い、考えを広げる。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母と一緒に祭りのお手伝いをしたい。 ・来年の祭りが今から楽しみだ。 ・昔から地域で取り組んできたことを、自分も友達や地域の人に伝えたい。 <p>○調べたことや話し合ったことを基にして、地域の人へ手紙を書く。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感謝の気持ち ・友達と学んだこと ・家族や地域の人話を聞いて、これから地域のために頑張りたいこと 	<p>■新たな価値を創造する力</p> <p>★調べたことや分かったことを基に、地域の人々への思いを書き、自分の考えを整理している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで考えを交流し、その後、全体で考えを話し合うようにする。 ・誰に手紙を書くのかといった相手意識をもって手紙を書くように助言する。

第4学年 総合的な学習の時間

「世界の国々の生活・文化ガイドブックを作ろう」(14時間)

1 単元の目標

- ① 世界の国々の生活や文化を紹介するガイドブックの作成を通して、外国の人々の生活や文化に慣れ親しむとともに、国際社会に生きる日本人としての自覚や誇りを高める。
- ② ガイドブックを作成するという目標に向けて、調べ学習を通して、他者を尊重し協力し合って活動することができる。

2 単元で育てたい資質・能力

◇自主・自律

「問題発見・解決力」

- ・提示された課題を基に、自分の課題を見付けること
- ・課題を解決するための方法を考え、実行すること

- ・海外で生活経験がある人の話を聞いて、外国の生活や文化に興味・関心をもつとともに、世界の国々の生活や文化について調べ、ガイドブックにまとめる。

◆人間関係

「他者と協働する力」

- ・目標に向けて、他者を尊重し、協力し合って活動すること

- ・ガイドブックの完成を目指して、互いに協力し合って情報を集めたり、話し合ったりしながら活動を進めるとともに、完成したガイドブックのよさを互いに認め合う。

□社会参画

「グローバル化に対応する力」

- ・我が国の伝統と文化に関心を持ち、現在の自分との関わりを理解すること
- ・他国の人々や生活、文化に慣れ親しんで行動すること

- ・世界の国々の生活や文化の様子を調べ、ガイドブックにまとめる学習活動を通して、日本の生活や文化との違いについて考え、我が国の伝統文化への関心を高める。

3 単元で扱う主な教育課題との関連

国際教育	・世界の国々の生活や文化についてのガイドブックを作ることで、多様な人々の生活や文化、習慣、価値観についての認識や理解を深め、それぞれの国の生活や文化について尊重する態度を養う。
日本の伝統・文化理解教育	・ガイドブックを作成したり、互いに見合ったりすることで、世界の国々の生活や文化と自国の生活や文化との関わりについて理解を深める。 ・世界の国々の生活や文化を理解し、日本との違いを考えることで、それらを育んできた地域や日本を誇りに思う気持ちを育てる。
I C T教育	・コンピュータのネットワーク機能等を使って、世界の国々の生活や文化についての情報を集めることで、I C T機器を適切に利活用する資質や能力を育てる。

4 単元の指導計画（14 時間扱い）

時間		主な学習活動・内容	育てたい資質・能力 ◇自主・自律 ◆人間関係 □社会参画 ★評価	指導上の留意点
1次 (3)	問 い を も っ つ	【日本と世界の国々の生活や文化を比べる】 ○A L Tや海外での生活経験がある教職員から外国の衣食住についての話を聞き、知りたいことや調べたいことを考える。(1) ・主食の原材料や調理方法の違いについて ・食事のマナーや食器の扱い方について ・気候に応じた衣服について ・住居の広さや設備について ○グループで調べたい国やテーマについて話し合い、調べる計画を立てる(2) ・食事 ・行事や風習 ・服装 ・住居 等	<input type="checkbox"/> グローバル化に対応する力 ★世界の国々の生活や文化を理解し、日本との違いについて考え、我が国の生活や文化への関心を高めている。	・児童に自分の生活と比べられるように、外国の衣食住について紹介する。 ・テーマの設定は児童の興味・関心を基にするが、調べさせたいテーマがそろえるようにする。
2次 (6)	調 べ る	【世界の国々の生活や文化を調べる】 ○テーマに沿って世界の国々の生活や文化を調べる。(4) ・食事 ・行事や風習 ・服装 ・住居 等 ○収集した情報をグループで共有し、ガイドブック作りの計画を立てる。(2) ・国やテーマを決めた理由 ・調べた内容 ・自分が調べて分かったことや考えたこと	◆他者と協働する力 ★互いに協力して情報を集めたり、話し合ったりして、ガイドブック作りの計画を立てている。	・調べる内容について役割分担をさせ、課題意識を明確にもたせるようにする。 ・調べたことは見出しを付けながらまとめるように助言する。
3次 (3)	実 践 す る	【ガイドブックを作る】 ○外国へ旅行する人に、その国の生活や文化を紹介することを想定して、ガイドブックを作成する。(3) ・図や写真を入れて、視覚的にその国のよさを伝える。 ・見出しや割り付けを工夫する。 ・読む人が知りたい情報を入れる。等	◇問題発見・解決力 ★世界には様々な国や異なる生活や文化があることに気付き、それらを尊重しながらガイドブックをまとめている。	・ガイドブックの構想を十分に考えさせてから、作成するように助言する。
4次 (2)	振 り 返 る	【ガイドブックを交換し合い、自分の学習を振り返る】 ○お互いのガイドブックを交換し合い、分かったことを伝え合う。(1) ・土地の気候に適した服装をしている。 ・伝統的な行事を大切にしている。 ・住居にも工夫がある。 ○学習を振り返り、作文を書く。(1) ・実際に世界の国々を訪問して、生活や文化を体験したいと思った。 ・日本の生活や文化と似ている点、異なる点がよく分かった。 ・生活や文化を大切にしている人々の思いが分かり、自分も日本の伝統や文化を大切にしていきたい。	<input type="checkbox"/> グローバル化に対応する力 ★ガイドブックを見合う活動を通して、他国の生活や文化への理解を深め、日本との違いについて考えることで、我が国の伝統や文化への関心を高めている。	・自分が調べた内容との共通点や相違点を発見しながらガイドブックの内容を伝えるように指示する。 ・外国の生活や文化を尊重する気持ちとともに、日本の伝統や文化にも関心がもてるように助言する。

第5学年 総合的な学習の時間

「日本の世界遺産を調べよう」（9時間）

1 単元の目標

- ① 日本の世界遺産について調べる活動を通して、日本の文化や自然の素晴らしさとそれらを守る人々の工夫や努力に気づき、国際社会に生きる日本人としての自覚と誇りを高める。
- ② 日本に暮らす一員としての自覚をもち、身近な文化財や自然環境を保護するために自分にできることを考える。

2 単元で育てたい資質・能力

◇自主・自律

「問題発見・解決力」

- ・課題を見付けること
- ・課題を解決するための方法と手順を考え、これまでの経験を踏まえて実行すること

- ・自分が興味をもった日本の世界遺産について調べる計画を立て、世界遺産の素晴らしさやそれを守る人々の工夫や努力について伝える。

◆人間関係

「他者と協働する力」

- ・目標に向けて、多様な他者の考えや立場を理解して、他者と協力して行動すること

- ・世界遺産を調べる活動を通して、それらを守ろうとする人々の立場を理解し、友達と協力して自分たちにできることを考える。

□社会参画

「主体的に計画・行動する力」

- ・集団や地域の一員として自分に求められている役割を自覚し、自分にできることを考え、活動すること

- ・日本の世界遺産について調べることを通して、日本人としての自覚と誇りを高め、身近な文化財や自然遺産の保護のために自分にできることを考える。

3 単元で扱う主な教育課題との関連

国際教育	・自国の文化や自然を保護する取組の尊さを理解し、自分にできることを考えることで、国際社会の中で相手の立場を尊重しつつも、自分の考えや意思を表現する力を育てる。
日本の伝統・文化理解教育	・日本の文化遺産を調べる活動を通して、自国の文化財や伝統文化について学び、多様な文化を尊重する態度を育てる。
環境教育	・日本の自然遺産を調べる活動を通して、進んで環境保全に取り組もうとする態度を育てる。
シティズンシップ教育	・日本の世界遺産を調べる活動を通して、日本人としての誇りと自覚を育むとともに、社会の一員として、自分の身近な文化財や自然を保全する態度を育てる。

4 単元の指導計画（9時間扱い）

時間	主な学習活動・内容	育てたい資質・能力 ◇自主・自律 ◆人間関係 □社会参画 ★評価	指導上の留意点
1次 (4)	問 い を も つ 調 べ る 【日本の世界遺産について話し合う】 ○日本の世界遺産について話し合う。(1) ・法隆寺は世界最古の木造建造物である。 ・知床では、流氷や様々な動物が見られる。 ○興味・関心を基にテーマを決め、計画を立て個人で調べる。(3) ・6年生で訪れる日光の社寺について、その素晴らしさや歴史を図書館で調べよう。 ・小笠原諸島を調べ、そこでしか見られない動植物を模造紙にまとめて紹介しよう。	◇問題発見・解決力 ★自分が興味・関心をもった日本の世界遺産について調べ、世界遺産の素晴らしさやそれを守る人々の工夫や努力について理解している。	・世界遺産には文化遺産と自然遺産があることを知らせ、動画や写真を見せるなどして、興味・関心を高めるようにする。 ・世界遺産を守る工夫など、調べる観点や発表の内容について確認させる。
3次 (4)	発 信 す る 【日本の世界遺産のよさを伝えよう】 ○日本の世界遺産の素晴らしさやそれを守る人々の工夫や努力について発表する。(2) ・文化遺産には現在それらを守る法律ができていますが、以前から多くの人の手で保存や修復が図られてきている。 ・白神山地では自然を保つためにパトロールをしたり、屋久島では観光客のツアーについてきまりをつくったり、訪れる人のマナーの向上を図るための取組がある。 ・貴重な文化財や自然を守るために、様々な取組がなされており、多くの苦労がある。 ・みんなで日本の文化財や自然を守るために多くの人が協力しようとしている。 ○日本の世界遺産の素晴らしさを伝えるためのポスターを作成する。(2) ・屋久島の自然の素晴らしさと、環境保全の大切さを伝えるポスターを学校の玄関に掲示する。	◆他者と協働する力 ★世界遺産を調べる活動を通して、その素晴らしさとそれらを守ろうとする人々の立場や取組について理解し、友達と協力して自分たちにできることを考え、伝えている。	・文化財や自然環境を維持管理することの重要性や環境保全に関わる人々の思いや願いにも触れるように助言する。 ・ポスターのキャッチフレーズは、世界遺産のよさや素晴らしさを伝えられるものか、吟味・検討するように助言する。
3次 (1)	振 り 返 る 【身近な文化財や自然を守るための取組を考える】 ○学習したことを生かして自分にできる取組を考える。(1) ・地域にある古い神社やお寺の文化財を守るために、町内会で取り組むことができる活動を考えたい。 ・町を流れる川をきれいにする地域のクリーン活動に積極的に取り組んでいきたい。	□主体的に計画・行動する力 ★世界遺産について調べることを通して、日本人としての自覚を高め、身近な文化財や自然を守り、継承するために自分にできていることを考えている。	・学習したことを振り返り、自分たちの生活に生かす取組を具体的に考えるように指導する。

第6学年 総合的な学習の時間

「世界に広げよう おもてなしの心」(19時間)

1 単元の目標

- ① オリンピック・パラリンピックに関わる人々の交流や外国の文化に触れる体験を通して、国際協定の視点から自分にできることを考え、身近な外国人との交流会の成功に向けて主体的に活動することができる。
- ② 世界の国々のよさを知り、他国を尊重する態度で交流会の準備をしたり、実際に外国人と関わったりすることができる。

2 単元で育てたい資質・能力

◇自主・自律

「学びに向かう力」

- ・自分でめあてを決めて、見通しをもって取り組むこと
- ・集中力や持続力を発揮して取り組むこと

- ・交流会の目的や見通しを明確にし、その実現に向けて、粘り強く考え準備している。

◆人間関係

「他者と協働する力」

- ・目標に向けて、多様な他者の考えや立場を理解して、他者と協力して行動すること

- ・交流を通して外国の文化のよさを発見し、違いを尊重しながら関わったり活動したりする。

□社会参画

「主体的に計画・行動する力」

- ・集団や地域の一員として自分に求められている役割を自覚し、自分にできることを考え、活動すること

- ・オリンピック・パラリンピックの学習を通して学んだことを基に、おもてなしの気持ちで、交流会の内容を考え、自分にできることに進んで取り組む。

■未来の創造

「持続可能な社会の実現に向けた実践力」

- ・身近な地域や社会で起きている問題に対して自分の考えをもち、自分なりに何ができるかを考え、実践すること

- ・多様な人々と共生する意義を踏まえ、地域に住む外国人との交流について、自分たちにできることを考え、実践する。

3 単元で扱う主な教育課題との関連

国際教育	・身近な地域に住む外国人との交流を通して、国際社会において、相手の立場を尊重しつつ、自分の考えや意思を表現する態度を育てる。
日本の伝統・文化理解教育	・外国人との交流会の企画、準備、運営を通して、外国の文化に触れ、それらを尊重する態度を育てる。

4 単元の指導計画（19 時間扱い）

時間	主な学習活動・内容	育てたい資質・能力 ◇自主・自律 ◆人間関係 □社会参画 ■未来の創造 ★評価	指導上の留意点
1次 (5)	問 い を も つ 【オリンピック・パラリンピックについて考える】 ○東京オリンピック・パラリンピックに関わる人々の思いを調べる。(2) ・JOCオリンピック教室 ・大会準備局や行政の担当課の人の話 ○前時までの振り返りから、印象に残ったキーワードを整理し、オリンピック・パラリンピックの意義について考える。(1) ・国際協調 ・平和 ・人権 ○地域の外国人との交流の仕方について考える。(2) ・日本や外国の文化の紹介や体験 ・スポーツ交流 等	■持続可能な社会の実現に向けた実践力 ★多様な人々と共生する意義を踏まえ、地域に住む外国人との交流について自分たちにできることを考え、実践している。	・「オリンピック・パラリンピック学習読本」（東京都）の活用を図る。 ・ゲストティーチャーを通して、オリンピック・パラリンピックを身近に感じられるようにする。 ・交流する外国人以外の国の文化も関連して広く調べられるようにする。
2次 (5)	調 べ る 【交流会に必要なことを調べる】 ○交流会を通して、日本の文化や外国の文化をお互いに分かり合うために必要な情報を収集する。(5) ・衣食住 ・遊び ・言葉 ・年中行事や風習 等	□主体的に計画・行動する力 ★おもてなしの気持ちで交流の内容を考え、自分にできることを進んで取り組もうとしている。	・「衣食住」「遊び」「言葉」などの観点から日本と外国の文化を比べながら調べるように助言する。
3次 (5)	実 践 す る 【交流会の準備をする】 ○交流会の役割を決め、準備する。(2) ・外国の文化の紹介 ・日本の文化の紹介 ・ゲームや歌 ・案内状の作成 等 ○互いにリハーサルを見合い、アドバイスを する。(3)	◇学びに向かう力 ★交流会の目的や見通しを明確にもち、実現に向けて、粘り強く考えたり準備したりしている。	・オリンピック・パラリンピックの意義を踏まえて交流できるように、留意点について話し合う機会を設定する。
4次 (4)	発 信 す る 【交流会を通して、互いの文化について考える】 ○交流会を実施する。(3) ・外国の文化の紹介 ・日本の文化の紹介 ・ゲームや歌 等 ○交流会を振り返り、作文を書く。(1) ・交流の意義 ・外国の文化のよさ ・日本や外国の文化の尊重	◆他者と協働する力 ★交流を通して外国の文化のよさを発見し、違いを尊重しながら関わったり活動したりしている。	・外国の文化を尊重する態度やオリンピックズムを大切にしてい、自分と外国の人や文化との関わり方について考えをもつように助言する。